



令和7年2月28日発行

将来を見据えて ～立志・職業講話～

玖珂中学校では、一人ひとりの生徒が社会の中で生きていくために不可欠な社会的・職業的自立に向けての基盤となる能力や態度を育むキャリア教育に取り組んでいます。その一環として、1月31日（金）に、2年生は立志について考える会を、1年生は職業講話を開催しました。

立志について考える会は、玖珂地域の地域協育ネットである『くらかけネット』主催で行われました。式辞では、大上会長から、「人と比べる必要はない」など、



これからの生き方を考えるうえで大切なことを伺うことができました。2年生は、生徒一人ひとりが、めざす自分像や将来の目標などを発表しました。発表時には、生徒の幼少期の映像も映し出され、成長の足跡を感じられました。最後は、学年合唱で会を終えました。

1年生は、多様な職種の方に講師をお願いし、職業講話を行いました。自分の興味・関心をもとに2職種を選択し、講話を聞くことで、生徒たちにとって「働く」ことの意義や目的についてしっかり学び、考える機会となりました。講話を通して感じられたことは、「約束や時間を守る」、「係や仕事に対して責任をもつ」、「身だしなみを整える」、「あいさつをする」など、規律正しい中学校生活を送ることそのものが、大人になってから働くために必要な力になるということでした。自分を見つめ、最良の進路選択につなげてほしいと思います。



あいさつ運動に取り組んでいます！

現3年生の生徒会執行部が取り組んでいた、あいさつ運動。新執行部でも引き継いで行っています。

2月4日（火）は、玖珂小学校であいさつ運動を行いました。中学生にも笑顔が見られ、元気良く取り組んでいました。地域の方との連携も図り、小中一貫の取組として今後も続けてほしい取組の1つです。

2月25日（火）は、玖珂中正門、自転車置き場入り口で、岩国警察署や岩国地区防犯対策協議会の方と一緒に、あいさつ運動と、自転車鍵かけの呼びかけを行い、ファイルなどの配布を行いました。いつもは、昇降口で行っているあいさつ運動ですが、外でも取り組む、良い機会となりました。



出前授業！



2月10日（月）、小学校で出前授業を行いました。多くの中学校で実施している出前授業は、中学校教員が小学校に行き、児童を対象に授業を行うというものです。玖珂中学校では、これに加えて中学生が小学校の各クラスに入り、小学校の教員が行う授業のアシスタントをするという活動も出前授業に含まれています。

当日は、2年生と2年部教員が玖珂小学校に出向き、出前授業に取り組みました。生徒たちは、算数や音楽、体育など様々な教科でアシスタントを務めました。やりがいを感じた生徒も多く、小学生からの「ありがとう」などの言葉が嬉しかったと感想を述べている生徒もいました。

中学校教員は、国語科、社会科、英語科の教員が6年生を対象に授業を行いました。もうすぐ中学生になる6年生にとっては、中学校の授業を体験する良い機会になったのではないかと思います。

